

# 戦争への足音

町長  
嶋田正義



第452回定例会  
(9月議会)

小学校4年生までですが戦争経験を持つ私には、最近、戦争の足音が近づいているような気がします。

権力者が異常に小中学校に關心を示しています。

- ・小中学校で学力テストを一齐に実施し、成績を公表する傾向にあります。
- ・君が代を歌っているか口元調査をする教育委員会が生まれています。
- ・教科書の使用で、検定に合格した教科書にまで干渉するケースが増えていきます。
- ・漫画「はだしのゲン」が学校図書館から消されようとしています。

これらはほんの一例ですが、一つひとつが戦争への道と重なっているように思えます。

私たちは小学校に入学すると教育勅語を暗記するように指導されました。意味はよくわかりませんでした。よく、とにかく暗唱を繰り返しました。

いま読んで、親に孝行し、兄弟仲良くし、周りの人には親切にし、よく勉強しましょうなど、よいことがたくさん書いてあります。しかし、一

番の中心は「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」でした。すなわち「戦争に行つて国のお役に立ちなさい」だったのです。

いつの時代でも戦争にはたくさんのお金の人が必要です。何の疑問も抱かず、不平を言わず、戦争に参加してくれる人が多数必要なのです。そんな人づくりに小中学校から取り組もうとの意図が働いているように思えてなりません。

鹿児島島の知覧に特攻平和会館があります。10代後半の若者が往路だけの燃料で飛行機で飛び立ち、帰らぬ人となりました。

家族や知人に宛てた手紙が残されていますが、涙なしで読むことはできません。この歴史を決して繰り返してはならないと思います。

# 食育通信

～みんなで食育を実践しよう～

## 給食センター調理員の保育所訪問

給食センターでは、保育所の子どもたちの給食も調理しています。小学校や中学校の給食に比べて、材料を小さく切ったり味付けを薄くしたりすることを心がけています。

8月には保育所を訪問しました。実際に給食を食べているようすを見て、今後もよりいっそう衛生管理に気をつけて安全・安心なおいしい給食づくりに取り組もうと、心新たにしました。



冷やしもちむぎ麺おいしいよ!

野菜も残さず食べるよ!

調理員さんと楽しくおしゃべり  
「今日の給食はおいしい?」  
「たくさん食べてね!」



## “こころ豊かなふくさき”を願って

### “手芸ボランティア” 会員募集!

「自分の趣味を社会に役立てたい」という思いでボランティア活動に励んでいます。

みんなの楽しい会話から生まれた作品を多数作り、その売上金を社会福祉協議会やデイサービスに、温かい気持ちとともにお届けしています。

手芸に興味のある方はぜひ一度お越しください。

活動日 第2・4水曜日  
10時～16時



場所 サルビア会館  
\* 作品はもちむぎのやかたで販売中(福崎秋まつりでも出店予定)

### “広げよう” ボランティアの輪

今月(10/20)11/19)のボランティア活動予定をお知らせします。ぜひご参加ください。

ココロクラブ  
10月26日(土)9時  
役場周辺街路樹下手入れ  
みどりのグループ  
11月6日(水)9時  
七種川沿い新町花壇  
問い合わせ先  
文化センター  
☎22・3755  
(コミュニティ推進専門員)

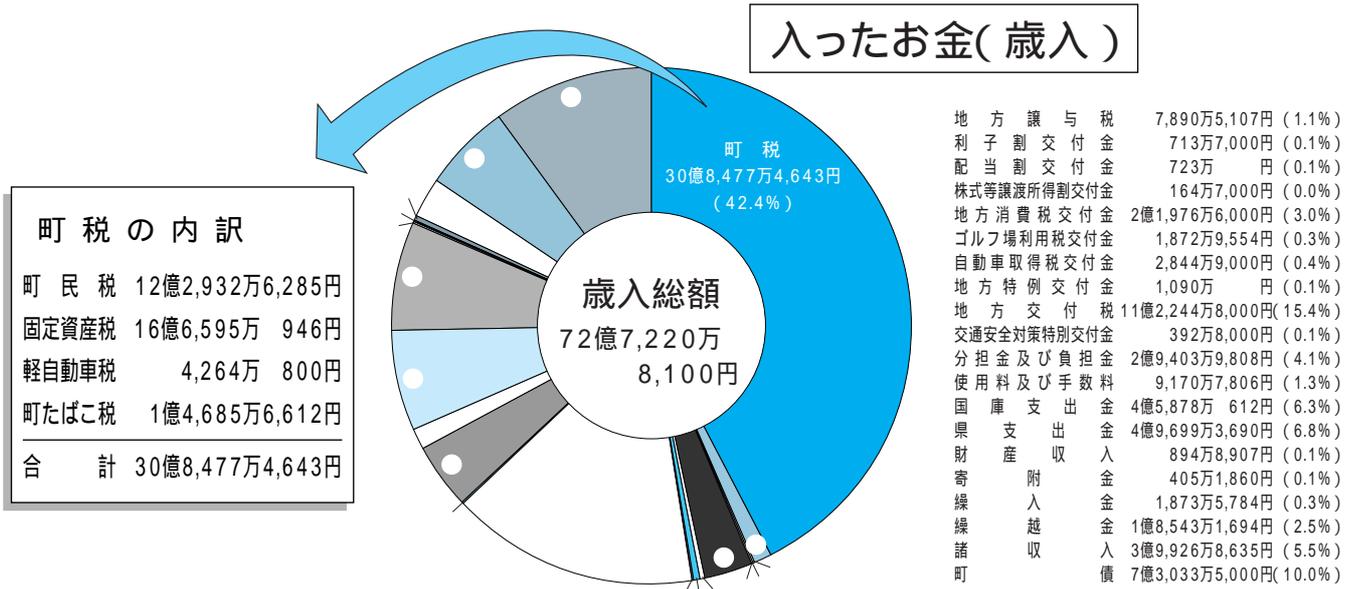
平成24年度の一般会計と特別会計の決算がまとまりました。

町の予算は、みなさんに納めていただいている税金や国・県からの補助金などによって運営されています。この1年間にどのくらいお金が入り、どのように使われたかを、一般会計を中心にお知らせします。

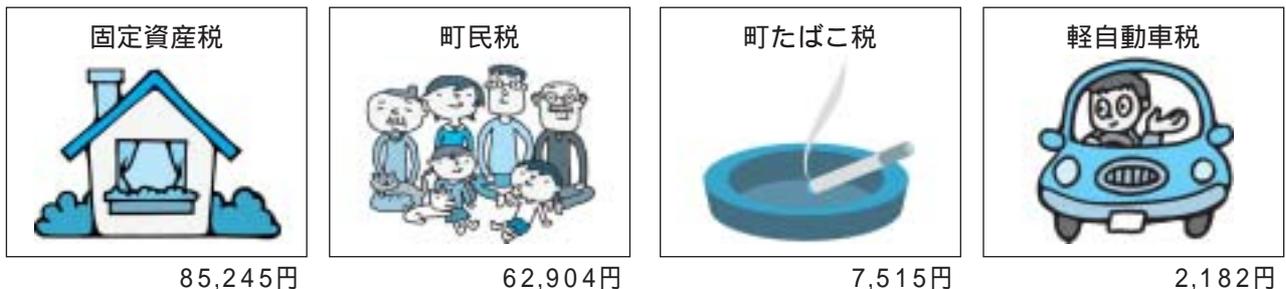
平成24年度の一般会計の決算は、歳入総額72億7,220万8,100円、歳出総額70億9,919万7,562円で歳入歳出差引額は1億7,301万538円になりますが、ここから25年度へ繰り越した事業に必要な経費616万6,000円を差し引いて1億6,684万4,538円の実質収支となり、実質単年度収支は、8,808万5,319円で4年連続黒字決算となりました。

決算にあたり、8月5～8日、12日の5日間は監査委員の審査を、9月11～13日、17日の4日間は議会決算審査特別委員会の審査を受けました。

## 入ったお金(歳入)



## 町民1人あたりに納めていただいたお金は157,846円でした



町民1人あたりは、平成25年3月31日の総人口19,543人で割ったものです。



福崎東部学童保育園のようす



全線開通した町道中島井ノ口線

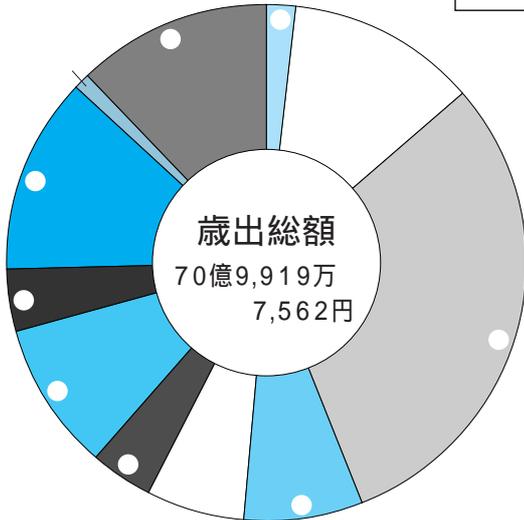
平成24年度  
福崎町の

# 決算

がまとまりました



## 使ったお金(歳出)



議会費	1億2,914万6,931円	(1.8%)
総務費	8億3,639万3,903円	(11.8%)
民生費	21億6,024万1,714円	(30.4%)
衛生費	5億2,642万1,143円	(7.4%)
農林水産業費	4億3,337万2,417円	(6.1%)
商工費	2億7,732万5,469円	(3.9%)
土木費	6億5,913万8,773円	(9.3%)
消防費	2億7,468万 361円	(3.9%)
教育費	8億7,057万 217円	(12.3%)
災害復旧費	6,906万7,249円	(1.0%)
公債費	8億6,283万9,385円	(12.1%)



図書館のようす  
(土・日・祝日の開館時間を延長)

町民1人あたりに使われたお金は363,260円でした



民生費	教育費	公債費	総務費	土木費	衛生費	農林水産業費	22,175円
						商工費	14,190円
110,538円	44,546円	44,151円	42,798円	33,728円	26,937円	消防費	14,055円
						議会費	6,608円
						災害復旧費	3,534円

## 平成24年度 一般会計及び特別会計 決算

(単位：円)

会計名	歳入額	歳出額	差引残額
一般会計	7,272,208,100	7,099,197,562	173,010,538
国民健康保険特別会計	2,012,099,223	1,939,155,471	72,943,752
後期高齢者医療特別会計	217,840,961	215,512,843	2,328,118
介護保険事業特別会計	1,304,523,083	1,276,360,458	28,162,625
農業集落排水事業特別会計	266,135,694	255,835,694	10,300,000
公共下水道事業特別会計	1,187,188,289	1,181,578,289	5,610,000
計	12,259,995,350	11,967,640,317	292,355,033

# 決算の分析から見るまちの財政状況

## ・普通会計地方財政状況調査

総務省の基準にもとづいて、普通会計(介護施設分を除く一般会計)の財政状況を分析した地方財政状況調査から、この5年間の決算額の推移をまとめました。

### (1) 歳入の推移

決算総額は、歳入・歳出ともに国・県の施策や投資的事業の状況により大きく変動します。平成24年度は投資的事業の大幅な減少により、決算総額は約5億円の減となりました。

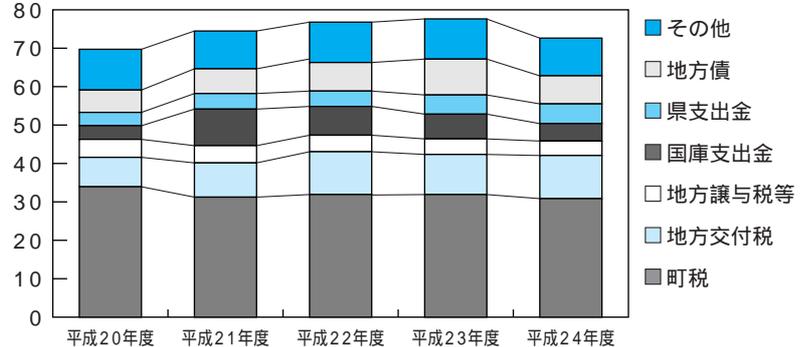
収入項目ごとに見ると、町税は、個人町民税が増収に転じたものの法人町民税の税割は昨年に引き続き減収となりました。固定資産税は、評価替えにより土地(地価)の下落を反映)及び家屋(経年減価補正)が減収となり、町税全体で1億566万円の減収となりました。地方交付税は、普通交付税と特別交付税をあわせて7,820万円の増となりました。

借金である地方債は、平成21年度から交付税の財源不足分を特例地方債で補てんする臨時財政対策債が大きく増加しており、平成24年度は5億3,060万円で1億1,623万円増となっていますが、投資的事業の大幅な減により4年連続で増加していた地方債の発行額は減少しました。

(単位:千円)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
町税	3,393,383	3,123,483	3,191,501	3,190,434	3,084,775
地方交付税	766,446	891,356	1,113,935	1,044,253	1,122,448
地方譲与税等	467,484	448,759	430,301	405,025	376,691
国庫支出金	355,409	951,336	748,811	643,889	454,134
県支出金	346,896	405,233	400,280	500,027	513,145
地方債	581,816	643,652	743,895	933,061	730,335
その他	1,061,107	984,251	1,050,046	1,046,756	981,645
歳入合計	6,972,541	7,448,070	7,678,769	7,763,445	7,263,173

(単位:億円)



### (2) 歳出の推移(性質別歳出)

歳出項目をその性質別に見ると、人件費は、職員給与・共済組合負担金・退職手当負担金の減が要因で3,364万円の減となりました。扶助費は、年々増加していますが、平成24年度は障害者福祉事業における助成費の増が主な要因となっています。

地方債に対する償還金である公債費は、3,018万円の繰上償還を行いました。

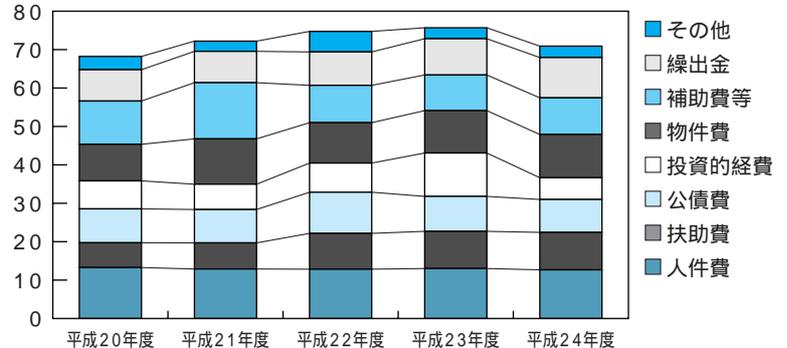
投資的経費は、平成23年度に田原幼稚園の建設、中島井ノ口等の道路整備事業を終えたことなどにより、5億6,275万円の大幅減となりました。

繰出金は、下水道事業会計への繰出金の増加に伴い年々増加しています。その他の経費のうち、7,210万円を財政調整基金に積み立てました。

(単位:千円)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
義務的経費	2,854,082	2,837,394	3,287,295	3,189,067	3,099,027
人件費	1,326,782	1,288,885	1,284,014	1,300,840	1,267,205
扶助費	644,957	679,849	931,618	968,658	974,817
公債費	882,343	868,660	1,071,663	919,569	857,005
投資的経費	728,643	658,351	758,914	1,128,782	566,035
その他の経費	3,239,403	3,724,444	3,427,767	3,260,164	3,425,101
物件費	952,312	1,180,349	1,051,575	1,103,194	1,125,729
補助費等	1,126,435	1,462,598	971,746	928,211	953,597
繰出金	815,437	816,021	869,413	943,839	1,049,455
その他	345,219	265,476	535,033	284,920	296,320
歳出合計	6,822,128	7,220,189	7,473,976	7,578,013	7,090,163

(単位:億円)



### (3) 基金残高の推移

#### 基金の概要

#### 財政調整基金

予測できない収入の減少や支出の増加に備えて積み立てておく基金です。

#### 特定目的基金

福崎浄化センター環境整備、農業農村活性化、福祉など、特定目的のために積み立てておく基金です。

#### 定額運用基金

土地開発基金や用品調達基金など、定額の資金で事業や事務を運営する基金です。

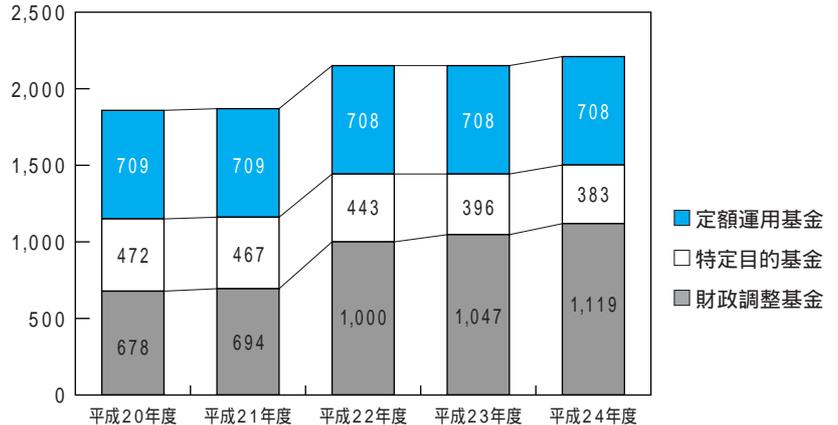
特定目的基金総額は、農業農村活性化、福祉基金などを特定目的のために毎年取り崩してきましたが、財政調整基金は平成22年度に3億630万円、平成23年度に4,700万円、平成24年度に7,210万円積み立てたため大幅に増加しました。

(単位:百万円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
基金残高	1,859	1,870	2,151	2,151	2,210
財政調整基金	678	694	1,000	1,047	1,119
特定目的基金	472	467	443	396	383
定額運用基金	709	709	708	708	708
1人当たり基金残高(円)	93,652	94,727	109,494	109,583	113,084

各年度末基金残高 / 3月31日現在総人口

(単位:百万円)



### (4) 地方債残高の推移(全会計)

#### 地方債の概要

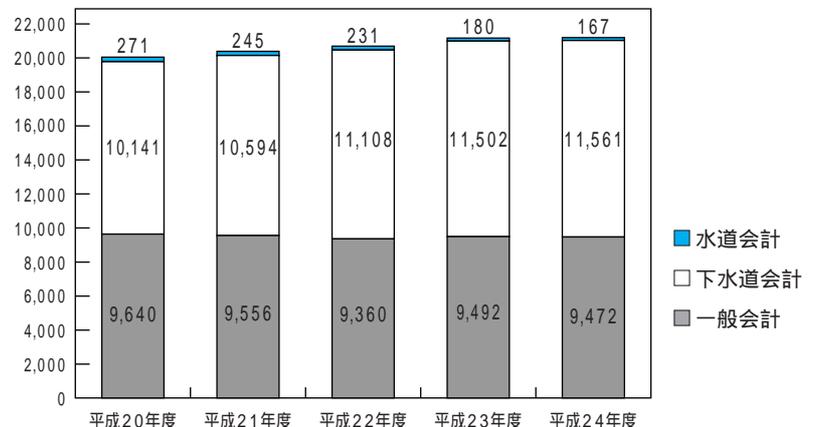
地方債は公共施設の建設など、一時的にたくさんのお金が必要な場合に借入するもので、次年度以降、償還していきます。償還に対して地方交付税で措置されるものもありますが、地方債残高が多くなれば次年度以降の償還金が大きくなり財政を圧迫していく要因となります。一般会計では平成19年度をピークに地方債残高が減少傾向にあります。さらに臨時財政対策債など、今後普通交付税に算入される地方債の割合が高くなっています。一方、下水道会計は公共下水道事業の推進により地方債残高が増加しており、今後も住居系の整備に引き続き工業団地の公共下水道整備を推進していくため、しばらくの間は将来世代の負担が大きくなっていきます。

(単位:百万円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般会計	9,640	9,556	9,360	9,492	9,472
下水道会計	10,141	10,594	11,108	11,502	11,561
水道会計	271	245	231	180	167
合 計	20,052	20,395	20,699	21,174	21,200
1人当たり地方債残高(円)	1,010,174	1,033,129	1,053,652	1,078,710	1,084,787

各年度末地方債残高 / 3月31日現在総人口

(単位:百万円)



## 健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果について

(単位：%)

健全化判断比率	平成24年度決算	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準	備考
実質赤字比率	-	15.00	20.00	
連結実質赤字比率	-	20.00	30.00	
実質公債費比率	12.1	25.0	35.0	(前年比 1.2%)
将来負担比率	132.0	350.0		(前年比 4.6%)
資金不足比率	水道事業会計	-	20.00	
	工業用水道会計	-	20.00	
	農業集落排水事業特別会計	-	20.00	
	公共下水道事業特別会計	-	20.00	

平成24年度決算にもとづき、健全化判断比率を算定しました。実質赤字比率、連結実質赤字比率については、ともに黒字決算であり該当しません。また、実質公債費比率は12.1%、将来負担比率は132.0%となり、いずれも早期健全化基準を下回っています。各公営企業会計における「資金不足比率」については、平成24年度決算において資金不足を生じた公営企業はないため、該当しません。

### 1. 健全化判断比率について

#### (1) 実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積等から算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率であり、これが生じた場合には赤字の早期解消を図る必要があります。

#### (3) 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金などの、標準財政規模に対する比率です。この数値は、健全化判断比率とともに地方債許可基準としても用いられ、18%を超えると起債の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債発行が制限されます。

#### (2) 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率であり、これが生じた場合には問題のある赤字会計が存在することとなり、赤字の早期解消を図る必要があります。

#### (4) 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率であり、これらの負債が将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すストック指標です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。

### 2. 各公営企業の資金不足比率について

資金不足比率は、各公営企業ごとの資金不足額の、事業の規模に対する比率であり、経営健全化基準(20%)以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。

## 兵庫県最低賃金が改正されます

兵庫県最低賃金が10月19日に改正され、時間額761円になります。

最低賃金は、パートタイマー、アルバイト等すべての労働者に適用されます。

繊維工業外8件の特定(産業別)最低賃金については、12月1日に改正されます。

詳しくは、兵庫労働局労働基準部賃金課(☎078-367-9154)または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

## 各種の相談事業(定例分)

サルビア会館でさまざまな相談を受けていますのでご利用ください。

#### 人権相談

毎月第3水曜日 10:00~15:00  
(担当=住民生活課・内線374)

#### 母子相談

毎月第2・4月曜日 10:30~15:00  
(担当=健康福祉課・内線353)

#### なやみごと相談

毎月第1・3水曜日 13:00~15:00  
(担当=社会福祉協議会・☎23 0300)

#### 行政相談

毎月第3水曜日 13:00~15:00  
(担当=総務課・内線221)